

英語科学習指導案(本時案) 6 学年

単元名『I want to go to Italy』

1 本時の位置 (全5時間扱い中の第5時)

前時: can の使い方に慣れ親しんだ。

2 本時の主眼

can と want の表現にもう一度触れる場面で、教師の用意したスリーヒントクイズや自分で作ったものを使い子ども同士でコミュニケーションすることを通して、can と want の表現についてより一層慣れ親しむことができる。

3 指導上の留意点

4 本時の展開

平成30年9月11日(火) 第4校時

授業会場 6年西組教室

6年西組 男子17名 女子18名 計35名

指導教員

授業者

段階	学習活動	予想される児童の反応	時間	指導・援助と評価
導入	1 あいさつをする。	・ I' m hungry!	2	○ Hello everyone. How are you?
	2 The Stormの読み聞かせを聞く。	・ ストームって何? ・ 台風じゃない?	5	○ 子どもが英語でのコミュニケーションの意識を高めることが出来るように、Tylre先生に絵本の読み聞かせをしてもらう。
展開	3 スリーヒントクイズをする。	・ USJだ。大阪でしょ。 ・ 自由の女神を見れるんだからアメリカだよ。 ・ えーと fireworks? であってる? ・ 先生の行きたい場所だって! ・ 二階建てのバスに乗れるんだ。 ・ U.Kってどこ?	8	Let' s play 3 hint quiz. ○ 子どもがcanの表現について振り返ることができるようにcanを強調して進める。 ○ 教師が行きたい場所を組みこむことでwantについて意識をさせる。 ○ この後の活動でBecauseを子どもが自然と使えるように強調する。(強制はしない)
	Today' s goal : can や want を使ってみよう		12	○ ワークシートを配布する。 Write place you want to go to. ○ 子どもが何を書くのか分かるように3ヒントクイズで用いた教師の行きたい場所を例に説明する場を設ける。 ○ 英語での表現など悩んでいる子どもを支援できるように机間巡視を行う。(Tylre先生にもお願いする。)
開	Where do you want to go to?の自分のものを書く。	・ 自分の行きたい場所と理由を書けばいいのか。 ・ もう先にこの下やるの? ・ この先生の書いてあるやつ真似すればいいんじゃない。 ・ 国以外も書いてもいいのか。迷うな。		○ 子どもがコミュニケーションの流れが分かるように教師がモデルを示す場を設ける。 ○ 会話としての意識を高めるために教師も子どもと共に活動をする。
	クラスの友達とインタビューをしあう。	・ 友達のを聞けばいいのか。 ・ 場所と理由を聞いてここに書いていくんだな。 ・ あれ、canってしたいだっけ? どちら? ・ 相手の言ってること分かってきた。		
終末	5ふりかえりカードを記入する。	・ canを自分で使ってみてもっといろんな英語を使ってみたと思った。 ・ canとwantを友達と話すことで分かるようになった。もっと話したいと思った。	5	Please say your review. ○ 子どもが会話を通して感じたことや慣れ親しんだことについて振り返る場を設ける。
				評価: 評価: 学んだ表現を会話で使うことを通して英語を活用することについての興味を持った関心を高めることができる。 (発言、ふりかえりカードから)